

●中聖牛の設置作業 11月 11日

中聖牛の組立 33人が参加 1基完成して、2基目に着手 前琵琶湖博物館館長・川那部浩哉氏が参加。原小組7人は 午前3時に静岡県島田市を出発して午前7時35分に到着 1基目を完成(15時30分)させて、急いで2基目の棟木を組み上げて、大筋作り上げる。作業終了16:30分。現地解散17時で、宿泊の京阪奈ホテルに出発される。

広島村上さんと奈良県大宇陀市室生の近藤さんが二回目の参加です。この日は、前日の雨が午前8時まで残っていましたが、風が吹き曇り空で徐々に日が差し始め、風が強くなる厳しい天気でした。予定の10時に開会のセレモニーを行い、里山の会から理事長の播川さんが参加の皆様にお礼いと歓迎の挨拶。原小組からも社長から挨拶をいただき、竹門先生から聖牛の役割と取組みの意義を解説いただきました。自己紹介と意気込みを述べ合いました。続いて資材を並べ聖牛の骨組みを立上げ、午前中には1基目の骨格が出来上がり、番線で固定作業に移りました。参加者全員が金づちやペンチを使って、ステップつくり精を出しました。最初はゆっくり作っていましたが全員が竹蛇籠を乗せる柵敷木の固定に取り掛かるとスピードを上げて製作しないと間に合わなくなりました。硬い番線をペンチで曲げる作業はなかなか大変でした。正午過ぎには集中して懸命に作業されているので、昼食休憩を言い出せず、やっと12時30分に声かけができました。手作りの味噌汁をふるまって、コンビニ弁当での昼食でした。1基が完成したのが15時でした。喜んでいる間も無く2基目の組み立てが始まり、声を合わせてロープでひばって立ち上げました。最も危険といわれる作業が支柱や棟木を立ち上げで、無事に成功してほっとしました。頃合いを見て16時に作業を終了しました。

11月12日 中聖牛の組立に38人が参加いただき合計3基の聖牛が完成 この日は国土交通省淀川河川事務所から職員7人が参加(白波瀬副所長含む)。昨日に比べてさらに多くの皆さんの参加となり、盛り上がりました。原小組さんは午前8時には作業を開始されました。昨日とは打って変わって朝から暖かい日差しで、風も無風で寒さを気にせずに済む秋日和を予想できました。9時ごろには予定されている皆さんが集合されて、自主的に気づいた作業を進めてしていただきました。本日も10時きっかりに開会挨拶を理事長が行い、自己紹介を行って、作業の再開となりました。この日はマスコミ関係者等が取材に来られて、作業の進行に支障が起きないかと気になりました。それでも3基目の挑戦ということもあって、作業手順を飲み込んでいる方あり、心配することなくスムーズに進行。手際よく進みました。昼食休憩は昨日のこともあって、12時少し前に予告を行って、12時ジャストに調整できました。風がなくおいしいカレーがふるまわれました。原小組さんは14時30分には出発されることになっていたのですが、すごい追込みが始まって、予定していた時刻には3基が完成して、中日新聞社に記事提供をされている新村さんのドローンでの撮影も期待通りに威力を発揮して、素晴らしい記念写真が撮影できました。最後の感謝の集いも無事に終了できました。参加者の中で青年代表の小林君が皆さんに感謝の言葉を述べて、作業を閉じました。出来上がった3基の中聖牛は、それぞれ見事な作品となって威風堂々とした迫力のある姿を見せてくれました。

●ふれあい土木展10日 昨年に引き続き開催された山田池の会場には、里山の会から播川さん青代さん金田さん山村さんが参加、とにかく広い敷地の中をお目当ての場所へたどり着くまでが大変で、しっかり歩かされました。里山の会では、いま最も悩んでいるのが、植物調査時の写真撮影を実施するとその場所を正確な地図上に掲載することです。撮影場所やデータを正確な記録に残しておく作業に相当な時間が必要となっています。パソコン作業改善が進み能率アップとなり時間短縮が図られるので、その対策を強く長年望んで来ました。ある測量会社が見つかったので、相談を持ち掛けると、面白いとのことと乗り気を示してくれた。いい返事があると、記録整理の負担が軽減されると思う。これは数年前からの念願の課題である。

● **木津川希少種生育調査業務** 11月は除草作業が中心となってくるが、作業前の生育調査が前提です。しかし、除草作業といっても、考えもなくただ簡単に除草するのではなく、刈り取る前に希少種の生育の調査記録を正確に記録することが必要な後世への責務です。したがって、除草実施前に状況を記録することが前提なのです。発注者からどの程度の成果物が提出されてくるのかと瀬踏みされているように思われます。この業務は、近畿地方17の協力団体のうち第1号として里山の会が位置付けられており、成果と取組みに注目がされています。私たちは里山の会ではできる限り期待にこたえようという覚悟で取り組んでいます。早速除草作業前に現状調査を8日の午後、全地域を踏破しました。同時に顧問の光田先生のご指導を得て、調査項目についてご指導をお願いしています。また報告文書についても先生の指導を受けて、皆さんの期待に応えられるよう、頑張っていくつもりです。9日には、絶滅危惧種の生育する木津川管内最上流部の加茂町小谷とイヌナズナなどが生育地である木津川最下流部の八幡市までの2か所の除草作業を実施しました。ここでの作業には足元の安全確保が第一でスパイク長靴の使用で安心して作業ができると好評でした。

● **京田辺市環境フェスタ 体験ブースト展示ブースに出展**

19日(日)中央公民館ホール 昨年に引き続き出店を決意して、取り組むことになった。会場の京田辺市中央公民館ホールの入り口の左側と割り当てが決まったと連絡が入った。今年の展示は中聖牛の設置と木津川とテーマを決めた。展示物は大型ブース3枚とのことで、台風21号による木津川の増水がで、各地で被害が頻発したので、その現場写真を提示します。また中聖牛設置への取組み展示を合わせて行います。木津川の水位上昇によって、堤防の下を流れ出てくるパイピング(漏水状況)のリアルな写真が迫力あります。木津川増水と砂堤防の実態を正確に理解いただくことが出来ると思います。

● **京都府環境フェスタ 12月9日10日** 今年も全面的に出店を申し込んでいます。メイン出店は竹蛇籠の現物(4m)を持ち込み展示します。そしてこれを9本使った高さ4m、長さ6mの中聖牛を想像いただきます。そして松かさツリーづくりを参加型として計画しています。ポスター展示は竹蛇籠と中聖牛とその取組み報告、台風21号による内排水問題及び異常降雨の実情、里山の会活動紹介を行います。ミニステージ発表は展示物のうちのいくつかを発表します。カスミサンショウウオの成体発見もその一つではないかと考えています。

● **琵琶湖・淀川流域圏連携交流会** 地域見学会の開催 開催時間は午後1時30分から16時を予定 集合場所や内容は後日連絡 **1:** 12月23日 奈良県 亀の瀬見学 **2:** 1月21日 滋賀県 琵琶湖コハクチョウの見学 **3:** 2月18日 京都桂川見学 **4:** 3月4日 大阪江合水辺の見学 参加募集内容は別途チラシ製作 参加希望者は事務局・丸井までご連絡ください。

12月9日10日に開催される京都府環境フェスタにも出店参加します。

